



東淀川区医師会



令和5年度

循環器疾患対策セミナーのご案内

慢性的に腎臓が悪い状態を慢性腎臓病（CKD）と呼び、日本の成人の13%がCKDであると言われていています。CKDは透析の原因になるだけでなく、動脈硬化ともかかわっており、腎臓を守ることが脳卒中や心筋梗塞の予防になります。講演では、CKDの診断や検査、動脈硬化とのかかわりや日常における対処法についても説明します。奮ってご参加下さい。

記

日時 令和5年**12月13日**（水）午後2時～

会場 東淀川区医師会館 3階講堂（豊新2-3-7）

演題 「腎臓が悪いとどうなりますか？
～脳卒中・心筋梗塞3次予防のために～」

東淀川区医師会 副会長 岡部 登志男 先生
岡部内科クリニック 院長

定員 30名（先着申込順）

申込 区医師会までお電話にて

参加無料
区民対象

※マスク着用にご協力下さい。

主催：東淀川区医師会

電話 06-6320-2226